

Book Reviews [自著紹介]



近年、子どもを取り巻く社会環境が変わり、育児情報があふれる中で、子どもたちは育児に苦悩している親たちに育てられているというのが現実です。健診の場は、まさにそのような親と子に寄り添い、子育て支援に医療人の力を発揮すべき大切な場なのです。

厚生労働省の「健やか親子21」の中でも「子ども心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」が謳われており、健診は決して従来のように指導型であつてはならず、保護者の発言を傾聴・受容した上で、育児支援に結びつく助言の場であることが大切です。

また、たとえば、おしゃぶりの使用やイオン飲料の摂取等について歯科医師、医師、保健師等の専門家がそれぞれの立場で発言し、その間に食い違いがあれば保護者の育児不安はつのるばかりです。

日本小児歯科学会では、乳幼児歯科健診を「子育て支援の場」とするために、また、歯科医師、歯科衛生士、

保健師、看護師等の誰もが乳幼児の口と歯の健康について、保護者の方々に的確に助言できるように見解を統一、整理することを目的に本書の発行を企画し、わたくしも編著者の一人として参画いたしました。本書の理念を示す書名として、わたくしの提案した「親と子の健やかな育ちに寄り添う乳幼児の口と歯の健診ガイド」が採用されたことは密かな喜びです。

専門知識に加えて、医療従事者間の豊かなコミュニケーションや豊かな人間性を養うために本書が活用されることも期待しています。



『親と子の健やかな育ちに寄り添う 乳幼児の口と歯の健診ガイド』

日本小児歯科学会 編
出版社: 医歯薬出版株式会社
定価: 3500円
発刊日: 2005年5月20日

大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
小児口腔健康科学分野

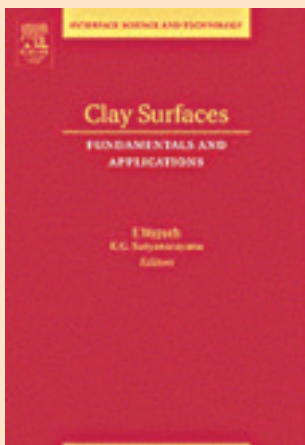
西野 瑞穂 にしの みづほ

粘土鉱物は天然の土壌中にある固体で、地球上にあまねく分布し、実生活においても古来、数えきれないくらい様々な用途に応用されます。工業的には、合成物が用いられ、合成粘土鉱物と呼ばれます。こうした普遍性のため、とりわけ人々の興味を掻き立てる物質ではないように思えますが、粘土鉱物には、実は、その幾何学的な構造や化学組成、また、化学反応等の性質に未知のことが多く残されています。これは、多くの粘土鉱物が層構造をもつということに起因します。この層構造では、1ナノメートル(1nm=10⁻⁹m)前後の厚みを持つ数種類の層が交互に積

『CLAY SURFACES』

Fundamentals and Applications
Included in series of
Interface Science and Technology, 1
Edited By
Fernando Wypych, & Kestur Gundappa

出版社: ACADEMIC PRESS
定価: GBP 124, USD 185, EUR 186
発刊日: 2004年



工学部化学応用工学科
金崎 英二 かねざき えいじ

み重なっています。また、二枚の層の間に別の分子又は分子イオンを取り込むこともできます。近年ナノテクノロジーという言葉が憶測を交えて語られる場合がありますが、合成粘土鉱物こそナノテクノロジーの成果の一つでしょう。

本書は粘土鉱物の合成法や性質等についての最近の成果を纏めたものです。内容は二部構成で、Section I は天然の粘土鉱物、Section II は合成粘土鉱物です。私は、編者のWypych教授に依頼され、合成粘土鉱物の一つであるハイドrotalサイト(一般的には層状複水酸化物「LDH」と呼ばれる)の合成法を分担執筆しました。著者はいずれもこの分野で活発に論文を発表してきた人々です。LDHの研究は、1960年代に始まり、1995年頃からその報告例が増えました。私は1994年にLDHの最初の論文を書いたので、この増加傾向を担った一人だと感激もひとしおです。化学系の学生に推薦します。